

## 2019年 昭和大学医学部 I期 解答速報(英語)

1

1.E 2.B 3.A 4.A 5.A

2

- 1.B help (O) (to) V という形をとる。特に help V という動詞の連続形には注意が必要。
- 2.A 過去の話をしているので、仮定法過去完了とする。文意として受動態は不可。
- 3.C 賛成 190 票 vs 反対 50 票という文意を読み取る。in favor of ~ 「~に賛成して」
- 4.B come up with ~ 「~を思いつく」
- 5.E It was a crisis. + I was totally unprepared for it. という 2 文を関係詞でつないだ形。
- 6.C be expected to V 「~することを期待されている」
- 7.B deal with ~ 「~に対処する」
- 8.D 否定の副詞節が先頭に出ており、主節で倒置が起こる。時制は過去形でよい。
- 9.C give in (to ~) 「(~に) 屈する」 テロリストには決して屈してはならない!
- 10.C it も that も単数名詞を表せるが、that は後ろに修飾語を伴うことができる。

3

- 1.ク 2.ア I had not waited long before she showed up.
- 3.オ 4.イ A little more care would have spared him a lot of trouble.
- 5.イ 6.ア I am sorry for any inconvenience I may have caused you.
- 7.キ 8.エ Why don't you let your children do as they please?
- 9.ウ 10.オ Things don't always go the way we want them to.

4

- 1.(2) sell well は能動態で「たくさん売れる」
- 2.(3) every three months または every third month 「3 か月ごとに」。単複に注意する。
- 3.(1) be at a loss 「困って、途方に暮れて」
- 4.(1) 彼女が看護師として働いていたのは過去の話。過去の一点までなので過去完了形。
- 5.(4) should have left the house earlier 「もっと早く家を出るべきだった」。後悔を表す。

5

(あ) B

「メッセージを送ろうとしているんだけど、ずっとエラーになるのよ。」

「ええっと。ああ、@の前にスペースが入ってますよ。」

(い) C

「アドレスの行のスペースを取ってください。そうしないとメールを送れません。」

(う) A

「なるほど。あ、うまくいったわ!」

(え) A

「テレビの試合に夢中で昨夜はあまり寝ていないの。」

他の選択肢で意味が通じるには、be absorbed は in が、be attracted は to が必要。

(お) E

「でも彼は本当に退屈でそうする (=居眠りする) しかなかったの。」

can や cannot とともに用いる help には「避ける、こらえる」という意味がある。

6

### 1. (ア) C. Unless

「もし厚生労働省が予防接種政策を徹底的に見直さなければ、はしかは定期的に流行するだろう」

SV の組み合わせが2つあるので接続詞が入る “nevertheless” は副詞で「それにもかかわらず」 “if only” は接続詞で「～する場合にはのみ」もしくは仮定法の SV を伴って「ただ～でさえあれば良いのだが」 “unless” は接続詞で除外条件を表す。「～する場合を除いて、もし～しなければ」 “despite” は前置詞で「～けれど」 “in fact” は副詞で「実際」

(イ) D. event

「政府は、はしかや風疹のような病気が流行した場合には、海外からワクチンを輸入して全年齢を対象にワクチンを投与する権限を持っている」

後ろに同格の that をとれる名詞が入る。 “possibility” も同格の that をとれるが既にはしかが流行しているので「可能性」はおかしい。 “in the event that SV ~” で「～する場合に」

(ウ) B. estimates

「国立感染症研究所はおたふくかぜのために聴覚障害になる人が、毎年約650人いると見積もっている」

研究所の出す数値の話なので“estimate”の「(数量などを) 推定する、見積もる」が最適。“approve”「～を承認する」「imply」「～をほのめかす」「realize」「～を認識する、～に気づく」「consider」「～をよく考える、考慮する」

(エ) E. lead to

「もし妊婦が風疹に感染すれば、そのことはそのまま流産や先天性の奇形につながる」

it が if 節の状況を指していることがわかれば、空所には因果関係を表す“lead to”が入る。同意語として“result in”や“bring about”がある。

(オ) A. Moreover

「このことは新生児の親にとっては大きな負担になる。というのも合計19回の予防接種を受けるために赤ん坊を少なくとも7回、診療所に連れて行かなくてはならないのだ。さらに、もしその厳しいワクチン接種スケジュールを守れなかった場合には、彼らはワクチン費用を負担しなければならないのだ」

空所の前で親にかかる負担の話をしていて、空所を含む一文にも親への負担に関する話題が来ている。よって追加表現の“moreover”が最適。“thus”「それゆえ」「for instance」「例えば」「in contrast」「対照的に」「similarly」「同様に」

2. 厚生労働省は2006年にはしかと風疹の混合ワクチンを二回接種する予防接種拡大政策を始めたが、それ以前の接種を受けていない世代に何ら救済措置をとらなかったこと。(79文字)

第8段落第1文と第2文は「その省(厚生労働省)がワクチン拡大以前のワクチン接種を受けていない人たちに対して救済措置を何も取らなかった。そこに近年のはしかの根本原因がある」とあるので第1文を中心にまとめる。これをそのまま答えにすると“the vaccination expansion”の内容がよくわからない。そこで第3文に「厚生労働省ははしかと風疹の混合ワクチン(MRワクチン)を二回接種するという政策を2006年に始めたが、それ以前の世代は除外された」とあるので、この内容を第1文の“prior to the vaccination expansion”にまとめる。

### 3. inoculation rates

直前にある複数名詞を指している。vaccines も候補に挙がるが vaccines は the stock of vaccines で一つの意味のかたまりになっているので including の目的語に vaccines だけが来るのはおかしい。また現在のはしかの流行の原因はワクチンを二回接種しなかった世代があることなので、その世代の人たちのワクチン接種率も含めて改善すべきである。

### 4. C. that is not as important as other issues

“secondary”は「二次的、副次的、派生的」という意味で“of secondary importance”で「二の次の」になる。つまり重要度が低いということなので “that is not as important as other issues” 「ほかの問題に比べてそれほど重要ではない」

### 5. A, G, I

A 「本文によると 1977 年から 1990 年に生まれた人が、今年最も深刻なはしかの被害を受けている。」第 1 段落第 2 文に一致。

B 「はしかのワクチンを全く接種したことの無い人がいることが、日本で定期的にはしかが大流行する原因である可能性がある」と筆者は考えている。」第 2 段落第 2 文に反する。

C 「厚生労働省は、現在のはしかの流行を鎮めるために海外からワクチンを輸入した。」第 3 段落第 2 文に反する。

D 「日本は予防接種政策において欧米に比べて 10 年遅れていると考える専門家はごく少数しかいない。」第 4 段落に反する。

E 「ワクチンのほとんどが公金によってまかなわれ、日本の地方自治体によって与えられる。」第 5 段落第 2 文に反する。

F 「アメリカでは個人がおたふくかぜ、A 型肝炎、小児インフルエンザのワクチンに対する費用を負担しなければならない。」第 6 段落第 1 文に反する。

G 「日本では 2009 年のインフルエンザ大流行のあと、公金でまかなわれるワクチン接種の回数が増えた。」第 7 段落第 2 文に一致。

H 「複合ワクチンは日本の低いワクチン接種率の改善に対して効果的な対策であるとわかった。なぜなら複合ワクチンは親の負担を減らすからだ。」第 9 段落および第 10 段落の内容に反する。特に第 10 段落第 3 文では、子どもを何度も病院に連れていくことが負担であると書かれている。

I 「過去に一度しかワクチンを接種していない人たちにワクチンを投与する努力を厚生労働省はすべきだと筆者は考えている。」第 12 段落第 1 文に一致。